

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(島根2号機 設計及び工事計画)【27】

2. 日時：令和3年11月26日 10時30分～11時10分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室(TV会議システムを利用)

4. 出席者(・・・TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全管理調査官、江寄企画調査官、齋藤企画調査官、義崎管理官補佐、植木主任安全審査官、宇田川主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、岩崎安全審査官、照井安全審査官、大野安全審査専門職、服部(靖)安全審査専門職、藤田審査チーム員、中村原子力規制専門員、日南川技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部部長(電源建築) 他26名

北海道電力株式会社

泊発電所 保全計画課 担当

中部電力株式会社

原子力部 設備設計Gr 担当

電源開発株式会社

原子力部 安全総括室 課長

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:09	原子力規制庁のヨシザキです。今回は島根の設工認のヒアリングを開始したいと思います。
0:00:19	それでは直電力のほうから説明をお願いします。
0:00:24	はい。中国電力のアラシバです。当時間をいただきましてありがとうございます。
0:00:29	今回は島根 2 号機の工事計画の認可申請補正の概要ということで 4 番目のヒアリングになります。
0:00:37	今回もですね、前回いただきましたコメントの回答を中心にですね。ええとご説明させていただきたいと思っております。よろしくお願いいいたします。説明はナイトウのほうからさせていただきます。
0:00:53	中国電力の内藤です。
0:00:56	まず資料確認から実施させていただきたいと思います。
0:01:00	本日の資料は 5 種類ございまして、資料番号 NS にほか 005 回ゼロに
0:01:08	NS にほか 001 回 03。
0:01:13	NS にほか 002 回 03。
0:01:17	MS にほか 003 回 03、また最後、今回から追加させていただいた資料になりますが、NS にほか 014 になります。
0:01:29	資料はおそろいでしょうか。
0:01:34	資料はありますので、説明をお願いします。
0:01:38	資料につきましてははすべて 11 月 20 日に提出したのになります。本日は、NS にほか 005 回 02 の
0:01:48	回答整理表に沿って前回ヒアリング時のコメントに対する回答について、関係する資料で御説明いたします。
0:01:56	2 ページをお願いいたします。
0:02:02	コメント No.11、
0:02:05	コメント内容審査会合用試料として先行プラントと同様に、スケジュールも準備することに対する回答といたしまして、
0:02:13	工事計画認可申請補正に関わる説明工程を作成しております。
0:02:18	ANS にほか 014 をご覧ください。
0:02:24	はい。
0:02:29	説明工程につきましては、NS にほか 003 回 03 の詳細スケジュールの情報をもとに作成したものでございまして、
0:02:39	判例左上の凡例に示しております通り説明期間を青色の線を青色の線で示しておりますが、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:49	これは説明順当コメント回答の期間を当社で想定して記載したものになります。
0:02:56	現時点
0:02:57	より前に線が出ているものにつきましては説明を開始している図書になります。
0:03:03	菱形で示しております主な説明事項の説明可能時期、
0:03:09	につきましてはこれはNSにほか 001 回 03 でお示している説明時期と整合させたものでございます。
0:03:20	主な説明事項備考欄
0:03:23	で記載しております一行に複数
0:03:27	主な説明事項があるものに関しましては、スケジュールのひし形の下にも数字を記載いたしまして識別させていただいております。
0:03:37	耐震強度計算書につきましては、すべての図書記載すると、1 枚におさまりませんので、今後の説明事項に関するもの。
0:03:46	をピックアップさせて記載させていただいております。
0:03:54	msにほか 005 回 02 の回答整理表に戻りまして、
0:04:02	No.12。
0:04:05	コメント内容、第 1 表について設計方針の説明時期だけでなく、設計結果の説明事項を明確にすること。
0:04:14	に対する回答として、第 1 表について設計結果の説明時期も分かるよう記載を見直しております。
0:04:23	NSにほか 001 回 03 の 8 ページ、9 ページをお願いいたします。
0:04:36	設計方針と設計結果の説明時期が分かっているものにつきまして、具体的には、ナンバー
0:04:44	1 - 5、1 - 7、1 - 9 になりますが、説明事業分けて記載いたしました。
0:04:51	それに伴いまして、当該欄の記載を設計方針の説明時期としたものから説明時期に修正記載を修正させていただいております。
0:05:07	コメント。
0:05:09	上杉ほか、
0:05:11	05 回 02 のコメント整理表に戻りましてNO
0:05:17	13
0:05:18	コメント内容、スナッパ等の新装置について今回工認にて設定する許容荷重を適用するものを割合を示すこと。
0:05:30	に対する回答としましては別途関連するヒアリングの際に説明することで考えております。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:37	続きましてナンバー14。
0:05:40	地盤の
0:05:41	解析用物性値について地盤の支持性能に関わる基本方針で説明することがわかるような記載を検討すること。
0:05:51	に対する回答として地盤の申請のに係る基本方針で説明する旨を
0:05:57	NSにほか 001 回 03 の 19 ページ。
0:06:02	反映しております。19 ページをお願いいたします。
0:06:11	2 ポツ、
0:06:13	の今後の予定。
0:06:15	今後の説明予定のところになりますが、前回は防波壁の詳細設計に用いる。
0:06:23	地盤の解析用物性値と記載していたところを、
0:06:28	今回、防波壁の詳細設計方針及び地盤の解析用物性値
0:06:35	通させていただいた上で、地盤の支持性能に係る基本方針を追記させていただいております。
0:06:44	コメント整理表に戻りまして、
0:06:50	コメント
0:06:53	15
0:06:54	コメント内容標高来円筒型容器の応答解析における評価の一貫性の意味する内容についてわかりやすい記載を検討すること。
0:07:04	に対する回答として横置円筒型容器の応答解析において評価部位にわたって、解析方法の使い分けを行わず、
0:07:14	ジャック式または梁モデルにより荷重算定を行う旨を記載しております。
0:07:21	NSにほか 001 回 03 の 13 ページをお願いいたします。
0:07:31	前回ヒアリング時は評価の一貫性の観点からという表現を用いておりましたが、今回表 1 の今回工認なんで、記載の通り、応答解析において評価対象部位である。どう
0:07:47	逆及び基礎ボルト毎に解析し方法分けず、時悪しきまたはりモデルに統一したという表現に修正しております。
0:08:01	NSにほか 005 回 02 の回答整理表をお願いいたします。
0:08:08	2 ページの最後のところですが、コメントNo.16、3 軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法の説明についてわかりやすく簡潔な記載を検討すること。
0:08:24	に対する回答として、30 粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法についてつきましては本資料は、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:33	詳細な内容を説明することであるものではないことから簡潔な記載に見直しております。16 ページ、NSにほか 001 回 03 - 16 ページをお願いいたします。
0:08:52	1 ぼつ概要の二つ目の矢羽の 2 ポツ目のところですが、
0:08:58	3 軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析について比較気体各成分等と記載していたところを、
0:09:07	今回解析手法の詳細等、
0:09:11	表の妥当性という簡潔な記載に見直させていただいております。
0:09:19	NSにほか 005 回 02 の回答整理表に戻りまして、3 ページをお願いいたします。
0:09:26	No.17。
0:09:28	コメント内容、6 - 2 - 2 - 3。
0:09:33	減少建物の耐震計算書のヒアリング想定期間について、関連する補足説明資料の提出時期を踏まえて見直すこと。
0:09:42	に対する回答としてヒアリング想定期間について、関連する補足説明資料の提出時期を踏まえて見直しております。
0:09:51	またナンバー18 もうスケジュール関係のコメントですのであわせて説明させていただきます。
0:09:58	No.18 のコメント内容を補足。
0:10:02	023 - 2、評価対象の網羅性、既工認との主表の相違点について分野ごとに分割するとともに、設計進捗を随時反映するなど、提出を早めることを検討することに対する回答として、
0:10:19	もう即 023 - 2。
0:10:22	につきまして機器配管系統建物構築物及び土木構造物するわけて提出時期を見直しております。4 ページNSに
0:10:31	ほか 003 回 03 の 4 ページをお願いいたします。
0:10:42	No.17 コメント内容No.17 に対する回答は 4 ページの下のほうの緑ハッチングしてるところ、6 - 2 - 2 - 3 原子炉建物の耐震性についての計算書のところですが、
0:10:59	説明期間につきまして
0:11:03	赤字で赤色での線で示しておりますが 8 月末まで延長させていただいております。
0:11:10	またコメントな三番、18 に対する回答は、
0:11:15	6 - 2 - 2 の 1 個下のところ、
0:11:18	補足 023 - 2 のところですが、機器配管系に関するものを 1 月末、建物構築物、土木構造物に関するもの、3 月末としてわかるように、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:31	分けて記載しております。
0:11:36	NS
0:11:39	ここでその他のNSにほか 03 回 03 の修正箇所について、
0:11:46	御説明させていただきます。
0:11:48	その他スケジュールでの修正箇所につきましては 11 月 15 日の週の審査実績を反映させていただいたところに 1 ページとかになります、
0:12:01	こと。
0:12:02	あと 9 ページ。
0:12:05	お願いいたします。
0:12:14	9 ページの下のほうになりますが、6 - 2 - 10 - 2 - 15。
0:12:22	貫通部止水処置の耐震性についての計算書につきましては、前回ヒアリングで御説明させていただきました通り、補正階を二階から 3 階に修正しております。
0:12:36	13 ページ。
0:12:39	お願いいたします。
0:12:47	13 ページは赤字で示しておるところですが、竜巻と火山の補足説明資料につきましてそれぞれ強度計算の方針の下の行に記載しておりましたが、強度計算の方針、
0:13:02	だけでなく、竜巻と火山の強度計算全般に関連する補足説明資料でしたので、記載する行上に上げて、備考欄に全般に関連。
0:13:15	することを問うあと竜巻関係につきましては、第 2 回補正範囲と第 3 回補正範囲に分けて提出することについて追記させていただいております。
0:13:29	NSにほか 005 回 02 の回答整理表の
0:13:35	3 ページをお願いいたします。
0:13:40	コメント No.19 コメント内容漂流物対策工の許容限界の考え方について先行との相違がわかるような記載を検討すること。
0:13:51	に対する回答として、漂流物対策工の許容限界として、
0:13:57	漂流物衝突荷重により塑性状態まで許容するものを記載しております。
0:14:02	NSにほか 001 回 03 の 15 ページをお願いいたします。
0:14:14	修正箇所は赤字の部分ですが、協議委員会として、漂流物対策工は漂流物衝突荷重により塑性状態まで許容するが、漂流物対策工踏まえた津波防護施設は、概ね弾性範囲状態にとどまる。
0:14:32	ようにすることについて追記させていただいております。
0:14:40	その他NSにほか 001 回 03 の修正箇所としましては、
0:14:45	4 ページをお願いいたします。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:52	前回ヒアリング時に御説明させていただきました通り、所数を修正させていただいております。
0:15:01	30 ページをお願いいたします。
0:15:13	フローの中の記載なのですが、配管反力
0:15:17	という話角のところなんですけどそこん中の括弧の記載について記載を適正化させていただいております。
0:15:28	そう。
0:15:30	またNSのほか 002 回 03。
0:15:35	の申し送り事項一覧につきましては、赤字部分を黒字化した。
0:15:41	のみで修正箇所はございません。
0:15:45	説明は以上になります。
0:15:51	原子力規制庁のヨシザキです。ご説明ありがとうございました。それでは今のコメント回答に対する確認、質問等ありましたらお願いします。
0:16:11	はい。
0:16:16	規制庁のチギラです。
0:16:19	ちょっと今説明いただいた以外の内容でちょっと気づいた点を当店。
0:16:25	もうしあげますか。
0:16:28	資料がNSほか 001 回 03 の
0:16:33	11 ページ。
0:16:35	お願いします。
0:16:37	ここの 1 ポツの四つ目の矢羽のところなんですけど、今回の工事計画認可申請ではっていうところで、冷凍始まる部分で、
0:16:51	そのあとにですね
0:16:54	建物の基礎底面の付着力として設置変更許可段階に設定したとっていう性があるんですが、
0:17:02	この付着細かい話なんですけど付着力っていうのは実行段階では設定して、それぞれ説明を受けたということで認識してるんですけど、その認識で。
0:17:15	ているでしょうか。
0:17:28	中国電力のオチアイです。ご逝去点了解いたしましたので、この 11 ページに設置変更許可段階に設定した辺りのって書いてるところをちょっと、設置変更許可段階に設定に説明したっていう形でちょっと修正させていただきたいと思えます。以上です。
0:17:46	はい、規制庁チギラです。わかりました。そのように修正いただければと思います。
0:17:54	あと、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:55	1点ですねあのスケジュールのところ、最後のですね。
0:18:00	ニーズのほか、
0:18:03	014 の
0:18:05	説明工程の表の見方でちょっと確認なんですけど。
0:18:11	この備考欄で例えばですね、
0:18:16	設計方針等の結果ですね、が分かっている。1-7とか1-9っていうのが
0:18:24	備考でですね、何か何回か出てくるんですけど、これは合わせて
0:18:32	/ポイントの資料の説明時期、
0:18:35	と整合すると、そのような理解でよろしいのでしょうか。
0:18:43	中国電力の内藤です。
0:18:46	その御理解で
0:18:48	その通りなんですけど、例えば1-7
0:18:52	につきましては、NSのほか001回03の資料では説明時期が2021年11月に設計方針。
0:19:02	4月に設計結果となっているんですけど、
0:19:07	NSのほか014のところでは、
0:19:13	機能維持の基本方針のところ10-が11月に日の説明を開始させていただいてると。
0:19:21	耐震性に関する説明書の4のところの隔離弁、機器配管のところ、1-7
0:19:30	4月にここで設計結果を説明するという形。
0:19:35	でございます。以上です。
0:19:38	はい、規制庁のチギラですか。わかりました。ちょっと表ですね、ずっと楽見ればですね、理解は進むんですけど、説明の時にですねまあちょっと、そのあたり、そういつただけとですね、理解が早まると思いますので、よろしく願いします。
0:19:54	中国電力ナイトウです。承知いたしました。
0:20:00	規制庁の義崎です。他に質問ある方はいらっしゃいますか。
0:20:06	。
0:20:07	どうぞ。
0:20:10	規制庁ウエキです。
0:20:12	/報の資料NSに他の001。
0:20:20	の13ページで先ほどご説明のあった。
0:20:26	予行系円筒型容器の方、応力解析の件なんですけど、
0:20:33	この右側のフローチャート等でですね、下の方の菱形で、
0:20:39	どう能力評価について評価の精緻化が必要かっていう

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:20:46	ひし形があるんですけど、これはどのような場合、
0:20:51	に精緻化が必要になるのでしょうか。
0:21:14	はい、中国電力イシガキです。この評価が必要な場合っていうのは、他農道の当て板がある場合に投資の部分が設置者の評価が精緻化が必要かどうかっていうところで判断するということになります。
0:21:30	以上です。
0:21:34	規制庁駅です。
0:21:36	ちょっと今は説明されたような少しどのような場合にこれが適用されるかっていうのをちょっと注記で簡単に書いていただくとわかりやすいかなと思うんですけど。
0:21:53	川でしょうか。
0:21:56	中国電力イシガキです。はい。拝聴いたしました。注記でわかるようにしたいと思います。以上です。
0:22:04	規制庁域で出します。それとあと同じページでですね、
0:22:09	これ左側の表で設置機器設置変更許可段階との比較
0:22:17	の形で示してあるんですけど、これに加えて
0:22:22	工認段階、既工認の段階でどうなっていたかというのをもうちょっと左側に追加していただけないでしょうか。というのは、やはり既工認からの手法の変更。
0:22:36	というのがむしろ重要になっていうふうになっちゃうので。
0:22:43	ちょっとそれを追加をしていただきたいと思いますので、ちょっと今、その上の応答解析等を売る強化。
0:22:53	んついて時工認によってどうなっていたかっていうのをちょっと説明をお願いします。
0:23:02	はい。
0:23:04	中国電力のイシガキです。はい。今回熱交換器などですね追加で評価の評価することになったものなどもありまして当期工認の部分に関しましては、基本的にJ E A G式またははりモデルで応答解析の
0:23:23	等で動力評価のほうはJAが式っていうことが多いんですけどもその内容を追記したいと思います。
0:23:31	はい。以上です。
0:23:33	規制庁行きですと来工認でちょっと確認するとまず応答解析については、既工認は、
0:23:43	時悪しき
0:23:46	なんですか弱視決まったはりモデルを使ってるものもあるってことですか。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:02	中国電力タムラです。基本はJEAG式ですけれども、200 じゃないものは梁モデルを使って、
0:24:12	定例もの。
0:24:14	三脚の支給を作ってやったものが機器によってあったと記憶しております。
0:24:23	あと、ちょっと今回追加になって機器とかはいろいろあるので、ちょっと
0:24:35	これを使う機器すべて、ちょっと正確なことはちょっと申し上げられないので、基本はReactorはりモデル弱はりモデルでやっていたということになります。ちょっと
0:24:50	整理してかけるちょっとここで書ける範囲で記載させていただきたいと思います。以上です。
0:24:57	規制庁、木です。お願いします。shotに主に細かいところは必要ないんですけど、外力わかればということで記載をお願いします。
0:25:09	それからもう1点なんですけど、鉄塔の実施料の
0:25:15	8 ページ。
0:25:19	少し細かいんですけど、1 - 4 のサブプレッションチェンバの耐震評価。
0:25:25	ていうところなんですけど、これも先行の女川でも同様なモデルの変更ということで採用されているんですけど、ちょっと1点確認は、
0:25:40	下から3行目ですね地震応答解析モデルについて、
0:25:45	鉛直方向の応答性質散水するため、
0:25:49	トラス同等サポートの間にばね要素を追加するというふうに書いてあるんですけど。
0:25:56	このまず今般ね要素っていうのは、
0:26:02	どうというバネ要素なんですかね、鉛直方向。
0:26:07	／ねえんでしょうか。
0:26:11	はい、中国電力のイシガキです。はい。その通りで鉛直方向のばね要素になります。以上です。
0:26:19	規制庁域ですねと水平方向、
0:26:24	についてはついてないってことなんですけど、鉛直方向と径万ですか。
0:26:29	ちょっと先行の女川ですと、ちょっと都市の記憶だとサポートとその取り付け部の局部変形を考慮するっていうことで、それは、鉛直方向だけじゃなくて、
0:26:44	水平方向の局番のもついていて
0:26:47	今、鉛直方向の応答精緻について書いてありますけどこの
0:26:53	えっと水平方向の場面もつけることによって、水平方向の応答というのも前影響を受けるっていうか、それも精緻化され、
0:27:06	ている。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:07	意図と思うんですけども、
0:27:10	島根の場合は、
0:27:12	それとはまたちょっと今晚の要素っていうのは違うっていう
0:27:17	理解でよろしいでしょうか。
0:27:20	はい。今回の線形鉛直方向のばね要素を追加した経緯というのが 360 度モデルで詳細評価をしたときに、と鉛直方向の固有周期Aの結果を反映した形で、
0:27:36	真似を設定しています。その際の水平方向の方も見ておましてその性方向に関してはバネを追加する必要はないというふうに判断して、イマイ地区方向だけを出したのをつけているという状況です。
0:27:52	以上です。
0:27:54	規制庁基礎今の説明をわかりました。詳細については
0:28:01	項目のところでまた別途、別途確認をしたいと思います。私からは以上です。
0:28:11	。
0:28:11	中国電力の田村です。今のところでちょっと補足させていただきますと、水平方向については、従来から重な構造として評価しておりましたので、
0:28:24	設置許可の段階でこの鉛直方向。
0:28:27	その検討
0:28:30	をしてそちらの蓄光本坑 12 月買うということは御程度御説明できておりませんでしたままのコメントを受けて詳細モデルで検討していく中で、ここもそのように適正化する必要があるということ。
0:28:45	で追加しておまして下 3 行が工認段階での御説明になります。以上です。
0:28:55	規制庁いけそうわかりました、ありがとうございます。
0:29:03	聞いているのヨシザキです。その他質問でしょうか。はい。
0:29:12	規制庁のエザキですけども。
0:29:15	小さいかな。
0:29:17	えーとですね。私からですね、確認だけですねスケジュールのmsつうのほか、003 の会 03 の 4 ページになります。
0:29:30	4 ページの下から三番目の
0:29:33	隣接建屋の影響に関する補足説明資料ですが、比較的ですね、
0:29:41	がついているところは提出また説明時期になるんだと思いますが、
0:29:46	工事気が割と終盤になってまして、
0:29:50	潜航サイトウではですねこの結果、
0:29:53	からですね、
0:29:56	いわゆる、機器配管系設計
0:29:58	設備のですね、設計を応答

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:03	土地ですか、いわゆるFRSをある程度補正するというお話が出てました。そういうことから考えるとちょっと懸念されるんですけども、ここが割と終盤に来ているという理由をお聞きしたいんですが、
0:30:17	説明できますでしょうか。
0:30:33	中国電力のオチアイですと、今この絵と隣接建物の影響に関する補足説明資料を主盤のちょっと7月下旬ぐらいのところに丸しておりますけども、これについては、今の建物関係の耐震計算書ですね、次の
0:30:49	同じ資料の5ページになりますけども、
0:30:53	例えば下のほうから決まった現象建物基礎スラブの耐震性についての計算書ですとかその他のその他制御室建物とタービンへと廃棄物とかですね、これらの耐震計算書の説明が今7月の下旬から8月ぐらいまで引いておりますので、
0:31:09	建物関係についても先ほど岩田の江藤の隣接建物の影響を踏まえた耐震性については、ある程度建物関係の耐震評価結果が飲み込みがついて、それらをこちらの今度フィードバックっていう形で、
0:31:25	考えておりましたので、時期としてはこの
0:31:29	こちらのほうの耐震計算書がある程度説明が終わった段階と合わせてということで、同じような時期にさせていただいております。こうなっている理由は以上です。
0:31:40	規制庁のエザキです。基本的にですね、今おっしゃられた話はあまり変わっていると思いますが、
0:31:47	ただし実際的にですね、審査または設計に及ぼす影響としては、
0:31:54	ただ、確かにですね、BWRのですね例えば高浜とか美浜とか、かなり交換サイトではRelease影響が
0:32:02	設備に及ぼす影響っていうのはあまり基本的には皆無だったんですが、基本的には柏崎以降をBWRに関してはちゅうなんていうのサイトウになりますので、今まで岩砕等に見られな影響が出てきてますので、この辺はですね、措置を自主的な
0:32:22	検討になるとは思いますけども、ある程度影響があるかどうかある程度並行的に作業していただいたほうがいいのかと思いますので、これは我々のデブリするものではありませんか。そこで影響があれば、基本的には全部申請が長引くということになるだけで話ですから、
0:32:39	我々としては急げということはいませんが、ある程度我々としてはある程度を並行して検討は目鼻つけておいたほうがいいのか考えています。以上です。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:56	中国電力のアピルです。ご指摘ありがとうございました我々もですね先行Pの硬質岩盤サイトウを見てですね影響ないってということもあってですね。順番通りこのように考えておりますけども、Bの審査の中で、
0:33:11	いろいろご指摘いただいているのも見ておりますので、そこら辺の影響も並行して進めてですね。準じ反映できることがあればですね反映する、さらに、この説明時期もですね、前倒しに文字化するか。
0:33:27	もしかするとするかもしれないということで進めたいと思います。とりあえず今さっきオチアイを説明した通りで、まずはちょっとここに置かせていただいて、当然並行して検討するというので進めさせていただきたいと思います。以上です。
0:33:47	経常だけです。了解しました。
0:33:54	規制庁の義崎です。その他に確認するものあるでしょうか。
0:34:06	特にないですか。
0:34:09	中国電力の方から追加で説明するものが何かあるでしょうか。
0:34:17	中国電力ナイトウです。こちらからは特にございません。以上です。
0:34:24	規制庁の鈴木です。なければ、これでヒアリングを終わりたいと思います。どうもありがとうございました。
0:34:32	ありがとうございました。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。